

## (別紙4) CMS機能要件一覧

1 基本要件		
1.	導入するCMS	ホームページを原則CMSで編集可能なサイトにすること。導入するCMSは、パッケージ（市販）化されたもので、開発ベンダーによるサポートが確立された製品であること。操作性に優れている扱いやすいCMSを希望。
2.	CMS利用にあたって	職員がCMSを利用するため、特別なソフトを各端末にインストールすることなく、WEBブラウザから利用できること。
3.	ユーザー管理	ユーザー全員に個別のID、パスワードを付与できること。
4.	スマートフォン対応	スマートフォン対応しているサイトとすること。
5.	コンテンツ移行	現行ホームページから新CMSへの移行は、原則すべて受託者が実施すること。対象ページについては当財団と協議の上移行を行うこと。当財団と受託者での制作分担は可能とする。なお、賛助会員ページについては削除想定とする。
2 ページ作成機能		
(1) テンプレート機能		
1.	WYSIWYG（※ワープロソフトで文書を作るような感覚(What You See Is What You Get)入力形式のテンプレート作成	コンテンツエリアをWYSIWYG形式で入力するようなテンプレートを作成できること。
2.	テンプレート選択	作成者が、登録された複数のテンプレートの中から利用するテンプレートを選択できること。
3.	サンプルレイアウトを使用した運用	コンテンツエリアに流用できるサンプルレイアウトを任意で選択し、新規に追加するページやお知らせ記事に追加することができ、そのサンプルレイアウトを編集し可変できること。
4.	自動更新	ページの追加、削除、変更に合わせて、グローバルナビ、ローカルナビ、パンくず、サイトマップ等が自動更新できること。
5.	アクセス解析タグの埋め込み	テンプレートにアクセス解析用GTM (Google Tag Manager) タグを埋め込めること。
(2) WYSIWYG形式		
1.	画像配置	作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡易な操作によって、ページ内に画像の配置を行えること。
2.	表作成	作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡易な操作によって、表の作成や編集を行えること。
3.	表内のテキストや画像のリンク設定	作成者が、表(table要素)内に配置されたテキストや画像に任意のリンクを設定できること。
4.	Word、Excelからのコピー＆ペーストによる表作成	作成者が、Microsoft Word及びExcelの既存の文書からのコピー＆ペーストによって、表の作成や編集を行えること。
5.	Word、Excelからのコピー＆ペースト時のHTMLソースクリーニング	Microsoft Word及びExcelから内容をコピー＆ペーストした後に、ソフトウェア固有のタグを自動的に変更・削除できること。また変更・削除の内容は管理者により設定が可能なこと。
6.	文字色変更	作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡易な操作によって、文字色の変更を行えること。
7.	文字サイズ変更	作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡易な操作によって、文字サイズの変更を行えること。
8.	表示位置変更	作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡易な操作によって、文章や画像の配置（右寄せ、左寄せ、中央揃え、左右インデントなど）を行えること。
9.	入力・編集時の表示イメージ確認（WYSIWYG編集）	テキスト入力項目について、ワープロソフトで文書を作るような感覚で、公開時のブラウザへの表示結果をほぼそのまま画面上に展開しながら、簡易な操作によって、入力や編集を行えること。
10.	HTMLソース編集	HTMLソースを直接編集できること。
(3) 全般		
1.	非表示要素の入力	title要素、SEO関連META要素の入力が可能なこと。
2.	画像加工支援	作成者が、特定のソフトウェアを使用しなくても、簡易な操作によって、掲載する画像の縮小、トリミング、回転が行えること。
3.	添付ファイルの一括掲載	ページにPDF、Wordなどを添付しページ公開時に合わせてそれらの添付ファイルを掲載できること。
4.	添付ファイルの形式・容量表示	添付ファイルを登録した際に、ファイル形式（EXCEL、PDFなど）およびファイル容量を自動的に掲載できること。
5.	ページの複製	簡易な操作によって既存のページを複製し、それを基に修正を加え新たなページを作成できること。
6.	動画	CMSで作成する記事ページ内に、YouTube等の動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。
(4) 確認・チェック機能		
1.	ブラウザ表示によるプレビュー	作成したページがどのように表現されるか、簡易な操作によって、ブラウザでの表示を確認できること。
2.	履歴保存	ページの変更履歴を保持し、過去の状態を参照・復元できること。
(5) ページ公開・削除機能		

## (別紙4) CMS機能要件一覧

1.	記事公開・終了の日時指定	公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時に記事ページの自動更新ができること。
2.	即時公開	公開日時を指定しない記事ページの場合は、即時公開の設定が容易にできること。
3.	記事の複製	CMSサーバに保存されている記事ページを一覧から選択・複写し、新規記事ページを作成できること。
<b>3 ワークフロー関連機能</b>		
1.	管理単位の設定・変更	管理者が、簡単な操作で、部署ごとあるいは作成者ごとなどの、権限を付与する管理単位を設定できること。
2.	管理単位ごとの権限制御	管理者が、簡単な操作で、管理単位ごとに、作成で行えることや作業範囲等細かな権限設定ができること。
3.	ワークフローの担当者設定	ワークフローの担当者はCMSのユーザもしくはユーザのグループごとに設定できること。
4.	承認者による変更差分の確認	承認者が、作成者が変更した個所をコメント等で確認できること。
<b>4 管理機能</b>		
1.	アクセス権限管理	作成したコンテンツに対して、ユーザごとのアクセス権設定（アクセス権無し／参照権／更新権の3種類の権限を最低限とする）が行えること。
<b>5 ユーザ管理</b>		
1.	管理者によるユーザ情報管理	管理権限ユーザがすべてのユーザ情報（名前、メールアドレス、パスワード等）を追加、確認、変更できること。
<b>6 ユーザ管理</b>		
1.	CMSへのアクセス制限	IPアドレス等によりCMSへのアクセス制限を設定できること。
<b>7 その他機能</b>		
1.	メルマガ機能	メルマガ機能を実装すること。ユーザ数は約3,000名を想定。 CMSの機能以外でも外部ツールの提案でも可能である。
2.	メルマガ機能（配信解除機能）	メルマガ機能には配信解除機能が備わっていること。 また、メルマガ登録のフォームから入力した際に自動的にメルマガユーザ登録が可能なこと。
3.	お知らせ登録（複数出し分け）	例えば、トップページ設置のお知らせを更新すると他のページに設置しているお知らせにも表示させることが出来るなどの複数出し分けが可能なこと。
4.	FAQ機能	データベースでの構築が可能なこと。
5.	用語集機能	データベースでの構築が可能なこと。 「分野検索」「キーワード検索」「五十音検索」が可能なこと。
<b>8 その他</b>		
1.	サポート体制	CMS開発元（販売代理店は含まない）がサポートデスクを開設していること。海外製品の場合は、日本国内にもCMS開発拠点があり、その開発拠点が日本語によるサポートデスクを開設していること。
2.	CMS操作マニュアル	操作マニュアルを作成し、ホームページを作成する際に一般的に必要な知識、注意すべき事柄を説明するための運用マニュアルを作成すること。
3.	CMS操作説明会	ホームページ更新担当者向けに導入時に操作研修を実施すること。
4.	スマートフォン対応	パソコンページを作成した際、同時にスマートフォン端末に対応したページも自動作成できること。
5.	問合せ	問い合わせ内容の取得は、セキュリティを保った状態で該当する担当者のみ行えること。
6.	アンケートフォーム	作成者がHTMLの知識がなくても簡単な操作で任意のアンケートフォームを作成できること。 フォーム内容はCSVダウンロードが可能であること。
7.	アクセス解析コンサルティング	構築後定期的なアクセス解析コンサルティングが実施できること。